

属性	今回のワールド・カフェを通して「シェア」に関して考えたこと、感じたことなど
海外経験ある 大学生	<p>シェアに対してある一つの知見が腹落ちし、妙に納得できたのが収穫でした。それは、「シェア = 人間性 + 合理性」(* 僕の意見ではないですが。)</p> <p>という概念です。</p> <p>シェアすることで無駄を省き、それが合理的につながる。 また、金銭などのインセンティブがなく、人間性(その人の価値観)が価値判断基準になる。</p> <p>これから、シェアがどのようにして社会に浸透していくのか、非常に楽しみです。)</p>
ITジャーナリスト	<p>私自身2010年11月に以下の記事を現代ビジネスに投稿させて頂く機会があり、いつかきっとこんなトレンドが広がれば、という願いを持っていただけに、こうして多くのこのテーマに興味を持つ方と交流の機会を頂いたこと、とても刺激的でした。一方、まだまだ新しいアイデアであることを議論を通じながら感じ、この中で具体的に何かアクションを起こしてみたい、と思うきっかけを頂きました。</p>
サービス事業者	<p>あの場で話をしているうちに、シェア自体は特別、日本では新しい考え方ではなく、それをビジネス = お金が絡む仕組みに変えたものがいま言われている[シェア]なのかなって感じました。</p>
ベンチャー企業 システム部	<p>シェアというものが、正当なコミュニティの上に成り立っていると感じています。 また若い世代がシェアという考えをカッコいいと感じているという事を知ったのは新鮮でした。 あきらかに今後シェアの発想は拡大していくと実感しています。</p>
教育関連事業の ベンチャー企業	<p>個人的には、シェア文化と資本主義の関係に興味がありました。</p> <p>いままで基本的に金銭の尺度によって測られていた「報酬」や「ステータス」が、今後はシェアすることによる情緒的な満足感や、そのP2Pだからこそ生まれる市場価値以上の価値、みたいなものも含んだ尺度に変わっていくんだろうと思います。</p> <p>また、ITが発達したおかげで、我々がわざわざモノの価値を金銭の尺度に変換しなくても、「分かる人には分かる価値」をシェアできる相手を見つけやすくなった、ということも昨日話していく中で腹に落ちました。このマッチング度合いをどこまで高められるか、が今後のシェアサービスの成功要因になりそうですね。</p>
弁護士	<p>「シェア」が、即物的な意義だけでなく、人の心を豊かにするという意義があることを、今回の企画で実感することができました。</p>
海外留学経験ある 大学生	<p>シェアによって生まれる新たなビジネスモデルも大事だが、人間の関係性の変化も忘れてはいけない、ということ。</p>
コンサル/NPO代表	<p>特に、シェアについては色々自分なりに考えていたのですが、「シェアとは、コミュニティ + 合理性」で成り立つ、という考え方が僕にとっては大きな学びとなりました。ぜひこれを軸にして、今後の活動に生かしていきたいと思っています。</p>
大学生	<p>「shareはファッション化する」</p>
ベンチャー企業代表	<p>モノや情報のシェアという表面的な共有のその裏にあるものについて思いを巡らされたのがよかったですね。裏にあるストーリーだったり価値観をシェアしていること、あるいはそれを可能たらしめている、SNSにもたらされていたプライベートの垣根の極小化と、結果的に生まれた信頼面での性善説的なもの(関係性が透明だから「悪いことしないだろう」という安心感)。</p>
人材系 ベンチャー企業代表	<p>「リソースは有限だからシェアがいい」という合理的な考えを阻む「所有欲」という人間心理の方が気になった</p>
事業会社	<p>「シェアの動機付けの最底辺には合理性が横たわっていて、その上に一部社会性(社会との繋がり)という要素がレイオーバーしている構造かなど。これらのトリガーやプースターとなるのは、実は格好良さだったりする。」</p>
事業会社	<p>自分も含め多くの方がシェアという概念に対し肯定的で、そこに未来を変える何らかの力強い可能性を感じているような気がしました。一方で、これを社会に根付かせるためには、シェアの対象物を生産/創造/所有する側と、それを利用/共有する側両方の理にかなうような仕組みづくりが必要であると感じました。現にカフェの場でシェアの事例として紹介されていたサービスは、こうした仕組みづくりがきちんとなされた上で成り立っているように思われます。</p> <p>冒頭で弁護士の方も指摘されていたように、シェアという概念は非常に多くの意味・行動・取引を包括し、決して明確な概念でなく、シェアの対象物に関わる権利関係も複雑であいまいになりがちだと思うのですが、こうした権利関係を地道にひもとき、過去にとられることなく所有する側と共有する側双方にメリットのあるインフラなり制度を創造することが、シェアを生かす仕組みづくりを推進する鍵となると思いますし、それこそが大きな下記、自分のブログでも紹介しましたが、改めて自分の考えに気づきました。シェアとソーシャルメディアとセレンディビティは関係していると思います。</p> <p><a href="http://sabetto.cocolog-nifty.com/blog/2011/10/post-744a.html">http://sabetto.cocolog-nifty.com/blog/2011/10/post-744a.html</a></p> <p>また、人とのつながりが、地域コミュニティだった時代から、高度経済成長期に職場コミュニティに移り、今はソーシャルメディアと成熟期に置いては価値観コミュニティになってきているという話はなるほどと思いました。</p> <p>機能として必要な物、それをもちたいという所有欲、持たなくてもシェアをすることに価値があると思うこと。この段階や役割の違いも意識できたことは自分にとって良かったです。</p>
ベンチャー企業 事業部長	<p>そして人よりシェア生活が進んでいることに気づくとともに、シェア経験がある人、シェアのレベルにも差があること、シェアの時代を迎えるにあたって、そういった段階の違いがあると思いました。</p>

属性	今回のワールド・カフェを通して「シェア」に関して考えたこと、感じたことなど
不動産系 ベンチャー企業代表	<p>自分自身で「シェアオフィス」を運営している為、今回のワールドカフェは大変勉強になりました。オフィスをシェアできる環境を提供させていただくことで、そこに集う人それぞれが、今度は自分の能力や技術を互いにシェアすることで、また新しいビジネスや出逢いが生まれる、という、シェアの連鎖が今後ドンドン膨らめばいい</p> <p>「シェア」と言っても、大きくは「物のシェア」と「経験のシェア」があると感じました。前者は車や家などのレンタルや共有、後者はSNSの投稿など。</p> <p>「物のシェア」については、ネットの普及による、マッチングコストの減少、決済コストの減少がキーになっているように思いました。今後、これらのコストが下がることで更に利用が加速すると感じました。</p> <p>「経験のシェア」については、今までは口頭や手紙などでしか共有できなかったものが、SNSなどへ投稿することで、より気軽に共有でき、人と人との距離が再構築されているような印象でした。</p> <p>もともと、人間は自分の経験を共有したいものなのかな、と感じました。物の交換 / 取引の手段として貨幣が生まれたのだと思いますが、貨幣はよく言えば、経験の共有をせずに物の取引をできる手段。(お金を払うとき、そのお金がどういう経緯で得たお金かというのは、普通問われない。)手切れが良く、ドライな取引となる。</p> <p>貨幣を使わない取引では、物と一緒にお互いの思い出や経験も交換 / 共有をすることになり、これが人と人との本来の交流を取り戻すきっかけになるような気がしました。</p> <p>一方で、取引を行う人間がどんな人か？ということにより価値を置かれるようになるので、貨幣に対抗して人への信用(支払いの信用ではなく、人として信用できるか)というものが重視されるようになるのかな、と感じました。</p>
子育てNPO	<p>シェアできるものとできないものの違い。機能的なもの(車など)は今後も広がるが、感情的なもの(ペット、彼女など)は5年たってもされない。もうひとつはベタだが頻度が低く、コストの高いものからシェアに向かうこと。</p>
モバイルゲーム系 事業会社	<p>「シェア」という曖昧で複雑な法的関係(売買契約など)の多くは、P2P間で結ばれることになりませんが、実際は、PとPの間に、「場の提供者」たるBが存在することも多そうです。</p> <p>一点目は、その時のBの責任をどのように考えるかということです。</p> <p>Bは契約の当事者ではないにせよ、複雑な法的関係の中に、Pを知らず知らずのうちにインボルブする役割を担うことがあります。したがって、マーケットの健全性のためには、P2P取引に関して、Bも何らかの(もしかしたら法的な)責任を負う必要を検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、二点目ですが、「シェア」はすべてがP2P取引とも言えなさそうだと思います。営利目的でPが取引を繰り返す場合には、PがB化する場合もありえますので、その時のBの責任はどう考えるべきでしょうか。</p> <p>以上は、例えばヤフーオークションのような既存サービスにも共通するテーマかと思います。今後、「シェア」という取引が拡大していくにあたり、トラブルも並行して増加するかもしれませんので、既存取引から対応策や課題などを学んでおくことも必要かなと感じています。</p>
官僚	<p>日本でも、日常生活にシェアというものが浸透してきていると感じている方と、まだまだちょっと近寄りたいたいと思っている方と、感じ方が分かれていることが非常に面白く感じました。</p>
事業会社	<p>「SHARE」という行為が広まり、根付くためには、「SHARE」すること自体がCOOLだと受け止められる必要がある。そのため、「もったいないから」「資源が足りないから」SHAREするというアプローチではダメで、</p>
事業会社	<p>「SHARE」することで「自分の人生が豊かになる」という経験を一人一人が積み、それが文化にならないとスケールはしないだろう。そのためのキーは、「個人の体験、ナレッジのSHARE」だと思う。</p>

属性	今回のワールド・カフェを通して「シェア」に関して考えたこと、感じたことなど
教育関連事業のベンチャー	<p>時代の変遷と共にシェアの潮流を考えたことで、かなり腹落ちしてきました！</p> <p>村・地域という単位で、徒歩圏内でシェアしながら助け合って暮らしていた一昔前から、経済成長の中で所得が増え、豊かになると同時に、コミュニティの過疎化が進んだ時代、そして、経済が成熟化、IT/Social Mediaが発達し、Sustainabilityという言葉が生まれてきた現在、成熟市場・世界がフラット化する現在は、そこそこ豊かではあるけれど、給与も鰻登りに上がらないので、「大企業での出世」という以前の画一的な幸せよりも、また違った幸せを追究するようになってきた。</p> <p>Social Mediaを駆使して世界中の人と出会い、その中で気の合う人と一緒に住居をシェアしたり、仕事を一緒に創ったりする。それ自体が幸せ、という風に。</p> <p>出世とは違った幸せを探さねばならない！ということで、「自己実現」という言葉も、マズローが提唱した頃(1954)は限られた人しか達成できないと言われていたけれども、これがマスト気味な時代に入ってきた。</p> <p>ただ、自己実現をひたすら追い求める中でも、生活の上では所得も必要なので、ここをシェアによって抑制することで、個々の目指すチャレンジがやりやすくなってきた。</p> <p>夢を追うお笑い芸人とか、ときわ荘に集う漫画家のようなイメージに近いのかも、と思いました。(コスト抑制だけでなく、このコミュニティーの中ではコラボレーションも起きる)</p> <p>さらに、大量消費・大量生産ではSustainabilityがない！ということもわかってきて、シェアすることの大義も高まってきている。</p> <p>…という風に、シェアが進んでいく流れの底には、</p> <p>「幸せの再定義(交流自体が幸せ)」</p>
事業会社	<p>ニーズがありそうなシェアビジネスジャンルが、</p> <p>「機能的なもの×高単価×利用頻度が低い」</p> <p>という発見があって面白かったです。</p>
事業会社	<p>シェアという言葉からは、先端技術によって可能になったものというニュアンスを感じるが、実はかつての日本では「地域」というつながりの中で、普通に行われていたことであることを再認識した。</p> <p>しかしながら、そのような地縁などのつながりが無い間柄でのシェアについては、利用者目線で考えてもまだハードルは高いと感じている。</p> <p>今後の動向に注目しつつ、少しずつ自分の生活にも取り入れて行きたい。</p>
ベンチャー企業	<p>これまで、シェアを考える上では、物質的なシェアが中心となるイメージが強かった。今回のテーマで議論をしたことで、<u>時間や空間、想いや知など、見えないものをシェアするという視点が広がったことが非常に興味深</u></p>
ベンチャー企業	<p>会社(プロジェクト)が労働力(労働者)をシェアしたときに、シェアで代替できないものはなにか？それは、技術や経験ではなく、その会社(プロジェクト)への想い。</p>
ベンチャー企業 企画部長	<p>考えたこと(もっと考えてみたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人のパーソナル・スペースの感覚とシェアの壁</li> <li>・シェアする人しない人の差はどこに？</li> <li>・シェアの中毒性(リブリスにおける手渡しの例)</li> <li>・共産主義とシェアの親和性</li> <li>・大阪は日本のアメリカ説(と大阪風シェアの発展可能性)</li> <li>・「いやぁ、これはシェアしちゃまずいでしょ」をシェアするとしたら？</li> <li>・「これをシェアされるとリクルートは困るなぁ」なモノとは？</li> <li>・「時間を節約するためのシェア」と「時間をより楽しく過ごすためのシェア」</li> <li>・未来のワーク・「シェア」リングと働き方のカタチ</li> <li>・リスク・「シェア」リングと保険の未来像</li> <li>・日本型シェアとコンビー</li> </ul>

属性	今回のワールド・カフェを通して「シェア」に関して考えたこと、感じたことなど
教育系 ベンチャー	<p>シェアの普及によって一部の商品サービスは売れなくなる。</p> <p>自然に淘汰されて社会が進化すれば良いと考えていたが、</p> <p>その会社に勤めている人にとっては生活がかかっているの</p> <p>やっぱり簡単な問題ではない、ということがよく分かった。</p>
大学生	<p>シェアに関する具体的な内容については、殊現在の生産年齢人口の中枢を担う世代を飛び越えて、オンライン上の共同体意識に親しみがある「若い世代」と昔ながらの共同体意識に馴染みがある「年寄り世代」の異なる2市場をつなげたシェアマーケットが、愛情によりはじめて担保されると思われた育児シェアリングを可能にするかもしれない、という結論が、僕一人では考え得なかったことでした</p>
大学生	<p>今回のワールドカフェでは社会人の方が多く参加していらっやって、学生の私にとっては良い刺激となりました。社会人の方でも業種によって「シェア」ということ1つに対してかなり切り口が違っていたこと、ご自身のご経験から深い知識を取り出され議論に上手く織り交ぜていたことが強く印象に残りました。学生の立場だからこそ、得られるものが(トピックについて以外にも)沢山あったと思います。</p>
教育系NPO	<p>シェアが広がると経済活動が停滞するのでは、とワールドカフェの時点では思っていたが、そんなに単純なものでもないという気がしてきた。そのあたりはまだもやもやしている。</p>
事業会社	<p>シェアという考え方について、参加者の皆さんが、概ね肯定的な見方をしていたという点が興味深い結果であったと感じています。様々な業種・属性の人間が集まるなか、否定的な意見がでないのは、逆説的にいうと概念の解釈が人によってマチマチ、もしくは普遍的な価値観として是とされいるのいずれかかと思いま</p>
事業会社	<p>to discover that each person holds a wonderful idea or interpretation on a theme if you only take time to listen to them.</p> <p>単純な発見と思うですけど、皆はテーマに対しさまざまな意見や解釈を持って、様々なアイデアに触れることは絶好な機会だった。</p>